

平成29年第16回（定例）高砂市教育委員会 会議録（要旨）

日時

平成29年9月28日午後1時30分

場所

高砂市役所南庁舎4階研修室

出席者

衣笠教育長、山名委員、吉田委員、神尾委員、布施委員

出席事務局職員

大西教育部長、永安教育推進室長、瀧野学校教育室長、都筑教育推進室教育総務課長、阿部教育推進室生涯学習課長、北野学校教育室学務課長、赤松学校教育室学校教育課長
福原こども未来部長、木村子育て支援室長、藤田子育て支援室幼児保育課長

本日の会議に付した事件

議案

- 1 高砂市社会教育委員の委嘱について
- 2 高砂市就学援助規則の一部を改正する規則について

報告事項

- 1 幼児教育に係るアンケート集計結果について
- 2 認定こども園の学校保健会への加入について
- 3 平成29年9月定例市議会の報告について
- 4 高砂市教育委員会事業後援・共催承認一覧について

その他

- 1 10月行事予定について

議 事 報告事項 1 幼児教育に係るアンケート集計結果について

- 事務局 (報告事項 1 について説明)
- 委員 A 教材の充実と施設の充実、保育士の研修等々の教育内容の充実に関して、その充実度というのがどんな形でされているのか、具体的な例で教えてください。
- 事務局 教育の充実に関しては、教材費のところの絵本の充実とか、保育や教育で使うような機材とか、音楽の授業をする保育でのものとか、そういったところについて買いかえを行ったり、また増やしたりは随時行っています。
- それと、保育士の研修についても、公立、民間問わず、就学前の幼児教育や保育に携わる保育士、教諭など、合同で研修するような機会を今まで以上に増やして、またそれを教育の内容につなげるというようなことも、実施をしているところではあります。
- 施設の充実についても、各園、特に老朽化しているところについては改修、または、認定こども園化に伴って施設の改修などを行っています。
- 委員 A 今年の 7 月の時点で、これだけの多くの方が教材の充実を望んでいるということは、充実されていないことの反映だと思う。実際に保護者はどういう教材を望んでいるのか、どういうものを施設としても望んでいるか、細かい具体的な要求の内容を把握できているか。
- 事務局 実際の教材をもっと増やしてくれという意見よりも、教材費の無償という意見が多くあったと把握しています。中には、習い事、英会話や体操などの要望も出ています。また、遊具の充実、お茶、お花とか、日本の伝統文化、そういった意見もあったようです。
- 委員 A 外部へ依頼してのプラスアルファの教育を、公立の中でやってもいいという考えはあるのか。
- 教育長 幼稚園の教育要領とか保育指針とかの中で、これをやってはいけないとかやってもいいとか具体的なことは明記されていないんですが、園長先生のお考えによって、例えば、地元の地域におられるお茶の先生をゲストティーチャーとして呼んで、おもてなしの気持ちを育てるとか、また、体を動かすような活動を考えている園長先生は、踊り、民舞などを取り入れてやっているところもありますし、音楽とかいろんな面でも、ときどきゲストを呼んで、取り組んでいるというところはあるんですが、統一して市全部がこれをやりましょうというのはありません。
- 委員 B 「自由にご記入ください」の、「保育士の十分な確保・処遇改善というような意見がたくさんありました」とあるが、これも民間と公立とは意識が違うのか。

- 事務局 保育士の確保についても、保護者からの目線で言えば、先生方がご苦労されているところには保護者は十分感謝の気持ちもあって、保育をする先生の大変さというのも理解しながら、保育士がたくさんいればそうした先生方の負担も減るのではという意見もありました。
- これは、公立も民間も問わず全国的な大きな問題になっていて、本市も、待機児童はいませんが、非常に今、苦労しているところです。
- 委員C このアンケートというのは、年に1回ですか。
- 事務局 このアンケートについては、今回初めて行っています。
- 委員C これに対して、どういう形でフィードバックするのか。
- 事務局 このアンケートは、もともと保育料の軽減事業から始まったもので、本市は、幼児教育の充実に向けた保育料の軽減を行う予定でした。ただ、この機会に広く幼児教育の充実の面についてのアンケート調査をさせていただいたんですが、認定こども園化に向けて各園で保護者説明会等も行っていて、保護者会に顔を出す機会もありますので、保護者に直接話す、または、ホームページ等でも周知方法を考え、フィードバックをやっていきたいと思っています。
- 委員C アンケートの回答率がすごく低いところもあって、35.7%、これに対して、高いところは98%とかかなり差があるが、何か是正する必要があるかと思うが、どうですか。
- 事務局 本来、園からのアンケートということで高い回収率を望んでいましたが、非常に低いということで、またそういったアンケートをする機会が今後もあるかと思えますので、できるだけ多くの意見を聞けるように、回収率の低いところは各園に話をして、アンケートの回収率を高めたいと考えています。
- 委員A 保育士の十分な確保とか処遇改善について保護者がこういうことを書くということは、保育士の十分な確保ができていないから、足りない分を保護者に負担を強いているようなことがあって、こういう文章が出てきているのではないか。
- 委員D 私も、この結果を見たときに、保護者の方が、保育士の研修を必要だと感じられる場面があると思った。手が回っていないとか、知識的にどうかなというようなことを保護者が感じて書いているなら、すぐに改善しないといけない。
- それと、特別な教育の充実ということで、私立のように、公立でも何か特徴のあることをしてもいいと思う。そのための予算は必要です。何かの形で、例えば子どものこれぐらいの世代にしかとれない音というものもあるので、語学とか音楽とか、スポーツの面でも、この年齢でしかこれはできないというところをしてあげられたらいいと思う。
- 事務局 成長段階も考えた上で、カリキュラムもそれぞれ先生たちが考えてくださっていますし、園の特徴も出したり、防災の訓練に力を入れるとか、そういつ

たことも高砂市の公立の中では力を入れています。従来からやっている食育とか、地域の人たちと一緒に取り組めることもたくさんやっていますので、また新しいことに挑戦する園もあると思います。どういったところに予算を置いていくのかを考えていきたいと思います。

○教育長 保育士の研修ということが出てきたことに対してはどうか。

○事務局 もし質のことを言われて、保護者が心配しているなら、非常に問題だと思います。

ただ、今、感じているのは、非常に先生方が忙しそうに見える状態で、十分に話や、相談ができていないと感じているのかというのは、不安に思います。

そういうフォローをするために副園長も置いているし、保護者にとって先生の質というのは、自分のお子さんを通して思われることで、不安があるときに十分に対応してくださる先生は、やっぱり質が高いと多分感じると思います。ですから、そういう相談に十分対応ができるような指導ができるようアップしていく必要があると思います。

議 事 報告事項 2 認定こども園の学校保健会への加入について

○事務局 (報告事項 2 について説明)

○教育長 認定こども園も来年度から学校保健会に加入するという事でよろしいですね。

議 事 議案第 1 号 高砂市社会教育委員の委嘱について

○事務局 (議案第 1 号について説明)

○教育長 特に質問やご意見等ありませんので議案 1 は承認します。

議 事 議案第 2 号 高砂市就学援助規則の一部を改正する規則について

○事務局 (議案第 2 号について説明)

○教育長 特に質問やご意見等ありませんので議案 2 は承認します。

議 事 報告事項 3 平成 2 9 年 9 月定例市議会の報告について

○事務局 (報告事項 3 について説明)

○委員 A 市内教職員の勤務時間の実態を把握しているのかという質問に関して、タイムカードはないということだが、どうなのか。学校の授業と、時間外のクラブ活動、あるいはその他の野外活動等の実態、実際何時から何時までどうい

うところへ行ったかと、どういう指導をしたかという具体的な業務内容、時間を把握しているか。

ノー部活デーに関しても、中学校全体で部活の時間を制限する動きとか具体的には今動いているのか。

○事務局 ノー部活デーを同じ日に設定するのは、どうしても学校の行事とかで、一斉にはできませんが、各校で決めて、ノー部活デーを設定して実施するよう指導しています。大きな大会等は、日程が決まっているところがありますが、練習試合等で日曜日、土曜日で入ることもありますので、そういう部分は、できるだけ削減して計画的にするように、学校のほうには指導しています。

○委員A 中学生は、教育の中でのクラブなのに、長時間練習していることが現実にあるので、対外試合を減らしたり、クラブ活動を週3日か4日ぐらいに減らしたり、土日は隔週で減らすとかすると、教職員の負担も減ってくる。そういう具体的な案はあるのか。

本筋に戻した形の教育スタイル、クラブ活動のあり方、捉え方。きちんとしたビジョンを描いた形でのクラブ活動減少、教職員の適正な勤務時間をつくるには、大きな変革が必要だと思うので、1回考えてほしいと思う。

○委員B 教師の負担を減らそうと思えば、外部指導員にお金をかけて増やす以外にはないと思う。

一方、子ども、教師も含めての負担を減らすなら、もちろん活動時間を短くするしかないが、ただ、今、練習時間を短縮することでできることといえば、近隣の市町は大体夏時間、冬時間、一斉下校というのを厳格に決めている。ところが、高砂市は、一応夏時間、冬時間は決めているが、原則だということ。顧問が直接指導している場合ではその限りではないという1文が、市の取り決めの中についている。だから、それを外せば一斉下校になるので、必然的に練習時間は減ると思う。部活動の担当者や、校長、教頭の意見も聞きながら、できるところからやっつけていかないといけないと思う。

○事務局 教職員の負担軽減を考えるなら、部活動のあり方の見直しをしない限りは、なかなか難しいです。学校で行われる部活動の本来の目的は明確です。そこにまずのっとることと、それに合わせたあり方の見直しをすることが、求められています。教育委員会としても、全部活について、きちんと休日をとれているのかということ調べて、できていないクラブには、学校に個別に指導もして、最低限はできるだけ確保するよう、県の指導を受けてしています。外部指導員に関しては、文科省も学校教育法の見直しをして位置づけまで出していますが、高砂は文科省が言うような外部指導員という形までは規定も備えていませんが、十分整理しながら、今後検討していく必要があるかと考えています。

- 委員B 部活動を考えるときに、どうしても練習時間の削減だとか大会の削減だとかに行きやすくて、見直すのはもちろん必要だが、これがだめ、あれがだめ、という、モチベーションに悪い影響があるのではと思う。その一方でこういう手当ををしますという部分がないと、今、一生懸命、時間、エネルギーを割いてくれている教師のモチベーションにかかわると思う。
- 教育長 たくさん教職員の勤務時間の働き方改革とか、部活のあり方についてご意見をいただきましたが、これについては、また機会を持ってご意見をいただきたいと思います。

議 事 報告事項4 高砂市教育委員会事業後援・共催承認一覧について

- 事務局 (報告事項4について説明)
- 教育長 報告事項4は承認します。

議 事 その他 10月行事予定について

- 事務局 (その他について説明)
- 教育長 これで閉会いたします。

平成29年9月28日 午後4時40分 教育長会議の閉会を宣告
